

様式第1号

大津市市民活動センタースモールオフィス使用申請書

年 月 日

大津市市民活動センター所長

申請者

所在地

団体名

代表者

印

大津市市民活動センターのスモールオフィスを使用したいので下記のとおり申請します。

記

希望区画	(いずれかに○) ア、1区画の使用を希望する イ、2区画の使用を希望する	
ふりがな 団体名		
代表者	役職	
	氏名	
連絡先	電話	
	FAX	
	E-mail	
設立時期	年 月 日に団体設立 (活動年数 年)	
会員数	(5人以上であり、うち半数以上が大津市民であること) 全会員 () 人 そのうち大津市民 () 人	
活動範囲	大津市 (学区域程度 全域) 滋賀県全域	
団体の規約	定めている (会則 定款) 定めていない	
活動分野	主たる分野	その他の分野

活動状況	(活動理念あるいは方針)		
	(公益活動*の内容)		
	誰に(受益者)	いつ・どこで	内容
事務所状況	現在	1 事務所がある	2 事務所がない
スモール オフィス 使用計画	(使用頻度)		
	① 毎日 ② 週 回 ③ 月 回		
	* スモールオフィスは事務所機能を必要とする団体のための施設です。年間を通じて概ね3% (週に3時間程度) 以上の利用をお願いいたします。		
	(使用内容)		
	頻度	事務内容	
	週・月 /回		
	週・月 /回		
	週・月 /回		
週・月 /回			
週・月 /回			
週・月 /回			
週・月 /回			
市民公益活動 についての 思い	(市民公益活動、協働のまちづくり等について考えていることを記載)		
	例) 市内には社会的経済的に困難な子どもや家庭が多く、居場所づくりや相談事業を通して子どもや家庭を支援し、少しでも良い環境づくりを行いたい。など		

<p>スモールオフィスを使用することで期待できる事業成果や展開</p>	<p>(受益者の拡大や協働の枠組みの拡大など)</p> <p>例) これまで〇〇学区から〇〇学区の活動が中心であったが、浜大津を拠点に活動範囲を大津市域に広げたい。など</p>
<p>大津市市民活動センターや市民活動団体との連携の提案など</p>	<p>例) 大津市市民活動センターの主催する〇〇イベントに、当団体の〇〇のプログラムを導入して協力したい。など</p>

* 「公益」とは「不特定多数のもの利益」、「共益」とは「会社や団体の会員または社員の共通の利益」です。

受益の機会が、特定多数の者（例えば、団体の会員）に限定されている場合は、原則として共益事業となります。

<提出書類>

- (1) 大津市市民活動センタースモールオフィス使用申請書
- (2) 定款、規約又はこれらに相当する書類
- (3) 役員名簿（新規設立団体の場合は会員名簿）*大津市民が半数以上とわかる名簿
- (4) 直近の事業報告書および収支決算書（新規設立団体の場合は今後の事業計画書および予算書）
- (5) 次年度計画書および予算書
- (6) 活動状況の参考資料（会報、ニュースレターなど提出できる資料）